

ひろしまハンドボール



hiroshima handball

No 115

2014. 7. 1

発行 広島県ハンドボール協会
 発行人 山本 一
 〒731-0192
 広島市安佐南区祇園5丁目37-1
 広島経済大学教育・学習支援センター
 Tel 082-871-9345
 Fax 082-871-1021



日韓戦惜敗 男女とも2点差

ヒロシマ国際

第19回ヒロシマ国際大会は日韓定期戦2014を兼ねて6月13日から3日間、広島市東区スポーツセンターで開かれた。

日韓定期戦は男女とも韓国代表が2点差で日本代表を下した。日本代表の男子は5連敗、女子は2連敗で通算成績は2勝3敗となった。

ヒロシマ国際は日本代表が韓国代表を終盤に1点差まで追い上げ盛り上がったが、韓国代表が踏ん張りを見せた。メイブルレッズは韓国代表、日本代表に粘りを見せたものの敗れ、最終戦でSKオーフス（デンマーク）を下し1勝2敗で3位となった。

メイプル3位

ルーキーあっぱれ

メイプル サイド松村 12 得点

メイブルレッズの有望新人がデビュー戦でいきなり注目を浴びた。

初戦から左サイドで松村、右サイドで門谷を先発に起用、速攻を武器に松村が4得点、門谷が1得点を挙げるなど大車輪のプレーを披露した。また、CB笠木、PV角屋もコートに立ち、笠木は5得点。3試合で松村は12得点、門谷は5得点。呉監督も及第点を与え、シーズン開幕へ楽しみが増した。

▲男子の日韓戦（白が日本代表）
 ▼メイブルレッズ対韓国代表

■ヒロシマ国際大会兼日韓定期戦 成績■

【男子】	韓国代表 24 (11-13, 13-9)	22 日本代表
【女子】	▽リーグ戦	
日本代表	27 (12-9, 15-13)	22 メイブルレッズ
韓国代表	34 (15-14, 19-8)	22 SKオーフス
日本代表	22 (12-7, 10-13)	20 SKオーフス
韓国代表	30 (13-16, 17-5)	21 メイブルレッズ
メイブルレッズ	32 (16-11, 16-14)	25 SKオーフス
韓国代表	24 (10-10, 14-12)	22 日本代表
※順位	①韓国代表 3勝 ②日本代表 2勝 1敗 ③メイブルレッズ 1勝 2敗 ④SKオーフス	



優秀選手賞 メイプルの 増田が受賞

大会終了後、市内のホテルで表彰式があり、最優秀選手賞には韓国代表の柳殷僣が選ばれた。

優秀選手は韓国代表の金温児、日本代表の石立真悠子（オムロン）メイブルレッズの増田寛那、SKオーフスのイエンセン・リーネ・ウノがそれぞれ受賞した。



←名門のキール

フクセ・ベルリン→



先輩に続き「行ってきま〜す」

代わって成田・東江

湧永製衣 荻木

小賀野に続き谷村も復帰

ドイツでの成果に期待



昨年7月からドイツに留学していた谷村遼太が、2年間にわたって活躍した小賀野龍也に続いて、チームに復帰した。フクセ・ベルリンの下部組織、フクセ・ベルリン、

IIに在籍、本場のハンドボールを肌で感じ、身につけてきた。

日本とヨーロッパのプレーや戦い方の違いを体験した収穫は何事にも代えがたい財産と言えよう。復帰戦はシーズン開幕戦の全日本社会人選手権。エース復帰はチームへの起爆剤でもある。成果を期待しよう。

湧永製業がドイツ留学を初めて3年目。今年には日本代表の成田幸平と東江太輝が1年間の予定で腕を磨く。

成田は谷村が在籍したフクセ・ベルリンの下部組織、東江は名門THWキールの下部組織で腕を磨く。

成田は昨シーズンの日本リーグで95得点を挙げ、フィールド得点賞とベストセブンに輝いた。持ち味のロングシュートに磨きをかける。

昨シーズンベンデスリーガで3年連続19度目の優勝を飾った名門キールへの日本人加入は東江が初めて。多彩なシュートを技術が身上で、本場でどこまで通用するか楽しみだ。

■県高校総体 成績■

【男子】

▽1回戦

廿日市30(12-7, 18-5) 12城北
 祇園北20(7-12, 13-6) 18三津田
 向原27(11-11, 16-13) 24賀茂
 呉港19(11-7, 8-7) 14如水館
 山陽19(8-3, 11-11) 14西条農

▽準々決勝

修道27(10-12, 12-10)
 2-1, 3-2) 25廿日市
 向原31(16-8, 15-6) 14祇園北
 広36(19-4, 17-4) 8呉港
 呉工35(17-6, 18-7) 13山陽

▽準決勝

向原22(7-12, 15-9) 21修道
 呉工15(9-5, 6-8) 13広

▽決勝

向原30(16-16, 14-13) 29呉工

【女子】

▽1回戦

桜が丘15(6-6, 9-4) 10清水ヶ丘
 賀茂22(11-4, 11-6) 10祇園北

▽準決勝

山陽41(18-4, 23-4) 8桜が丘
 三津田14(9-9, 5-4) 13賀茂

▽決勝

山陽27(10-12, 17-7) 19三津田

県高校総体

インターハイへGO



インターハイ予選を兼ねた県高校総体は5月31日と6月1日に日新製鋼呉体育館などで開かれ、男子は向原が4年ぶり5度目、女子は創部3年目の山陽が初優勝した。男女の1位は8月2日から神奈川県川崎アリーナなどでのインターハイに出場する。

向原は呉工との決勝で後半23分から4連続得点でリードし、呉工の反撃を振り切った。山陽は前半の劣勢を後半開始直後に6連続得点で逆転。その後も着実に加点、三津田の攻撃を7点に封じて選抜大会に続き全国切符を獲得した。



男子 向原

いざ夏の陣

女子 山陽



《男子決勝 向原 vs 呉工》

【向原】	得	【呉工】	得
高島 翔大③	K	尾見谷和士②	1
田原 啓太③	3	羽田野 岬②	0
森岡 和樹③	3	天野 飛来②	0
増田 武志③	0	金重 輝也②	0
中山 翔太②	9	松林 大智②	3
岡部 光樹①	7	山高 和也②	3
実藤 大地③	6	高田 直弥③	1
塩崎 竜也①	0	光山 祐生②	0
高吉祥一郎②	0	上相 幸也③	10
山上 貴大③	1	下岡 優真②	2
板村 誠①	1	長法 圭汰②	K
狩山 拓磨①	K	洪川 英晃①	6
鑄鍋 優作①	0	河崎 真佑①	1
丸岡 良輔①	0	久保 寿樹①	3
齊藤 統太①	0	(注○数字は学年)	

《女子決勝 山陽 vs 三津田》

【山陽】	得	【三津田】	得
齋藤 瞳②	K	中森麻衣子②	K
国広紗弥香③	8	定岡 夏子③	1
中西 由乃③	0	中路 莉緒③	9
久保 晴香③	2	向田 有沙③	1
前場 桃子③	0	家頭 なな③	3
山下 綾香②	0	長谷川沙菜③	0
塩谷 緋子②	4	原 水輝③	5
板倉 舞②	4	丸山 篠③	0
吉政 真来①	0	古川 満希①	0
梶山 爽香①	0	坂本 瑠季①	0
上田 らん③	2	佐々木玲奈①	0
塩田 奈々①	K	大平 夏海②	K
木村 凜①	0	中野 萌①	0
平川 結衣①	0	日高 千穂①	0
三宅 菜月①	6	宮下 萌①	0

シーズンインを控え
メイプルが韓国遠征

メイプルレッズは今シーズンの開幕を控えた5月27日から9日間に日程で韓国・ソウルに遠征、実業団や学生などを相手に12試合を行った。

参加はスタッフ3人、選手は安齋とリハビリ中の塩田、木田を除く16人の合わせて19人。

エース宋海林を外しての試合などをテストしたり、若手を起用するなど今後の大会を想定し、実戦を積んだ。

結果は韓国中学生男子最強というナマハンに2敗したほかは負けなしの10勝だった。

帰国直後のヒロシマ国際大会を皮切りにシーズン入り。7月2日からは全日本社会人選手権に臨む。

一方、全日本社会人選手権を前にした6月25日には協賛企業などによる激励会が開かれ、選手らは2年ぶりの優勝へ力強い決意を披露、参加者から励ましの声が飛び交った。



第7回県小学生大会は6月7日、全国大会県予選を兼ねて湧永満之記念体育館で開かれ、安芸高田HCが高学年男子と低学年混成で7連覇を飾った。高学年女子はHC向原が3年ぶり2度目の優勝。高学年男女の1位は8月に京都府京田辺市での全国大会に出場する。

高学年男子と低学年混成

安芸高田がV7

県小学生大会 高学年女子はHC向原

優勝した(左)から高学年男子の安芸高田HC、同女子のHC向原、低学年混成の安芸高田HC

■県小学生大会 成績■

【高学年男子】		
▽1回戦		
メイプルJr 21(8-1, 13-7)	8	HC向原
安芸高田HC 14(6-5, 8-2)	7	呉 Jr HC
▽3位決定戦		
呉 Jr HC 20(11-5, 9-3)	8	HC向原
▽決勝		
安芸高田HC 16(9-3, 7-6)	9	メイプル Jr
【高学年女子】 = 出場2チーム		
▽決勝		
HC向原 19(6-2, 13-3)	5	安芸高田HC
【低学年混成】		
▽1回戦		
呉 Jr HC 12(7-2, 5-4)	6	HC向原
安芸高田HC 10(3-0, 7-6)	6	メイプル Jr
▽3位決定戦		
メイプル Jr 6(3-2, 3-3)	5	HC向原
▽決勝		
安芸高田HC 12(5-6, 5-4)	7	MTC 2-0)
	10	呉 Jr HC